

核医学検査技術学実習

実習2

注射針、バイアルの取扱い

注射針、バイアルの取扱いは、
テクネシウムジェネレータの取扱い、
各種放射性薬剤の標識に
必要な手技なので
習熟して下さい。

用意するもの

5ml、2.5ml、1ml 注射器

5ml 空バイアル、10ml 生食入りバイアル

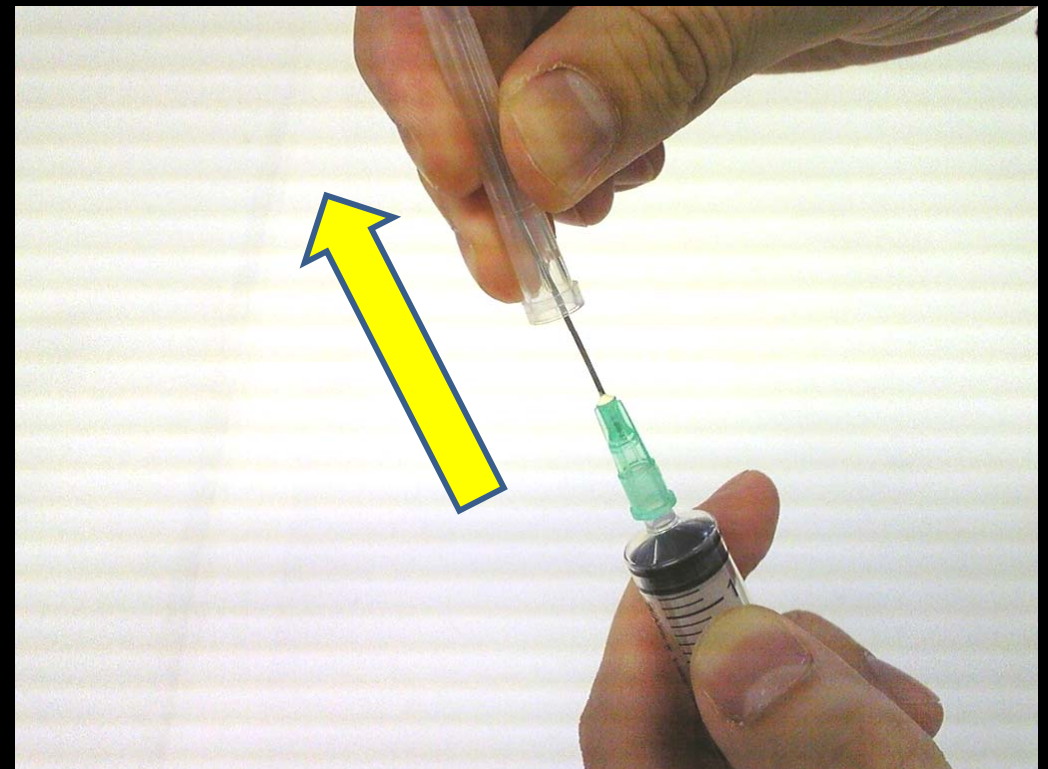
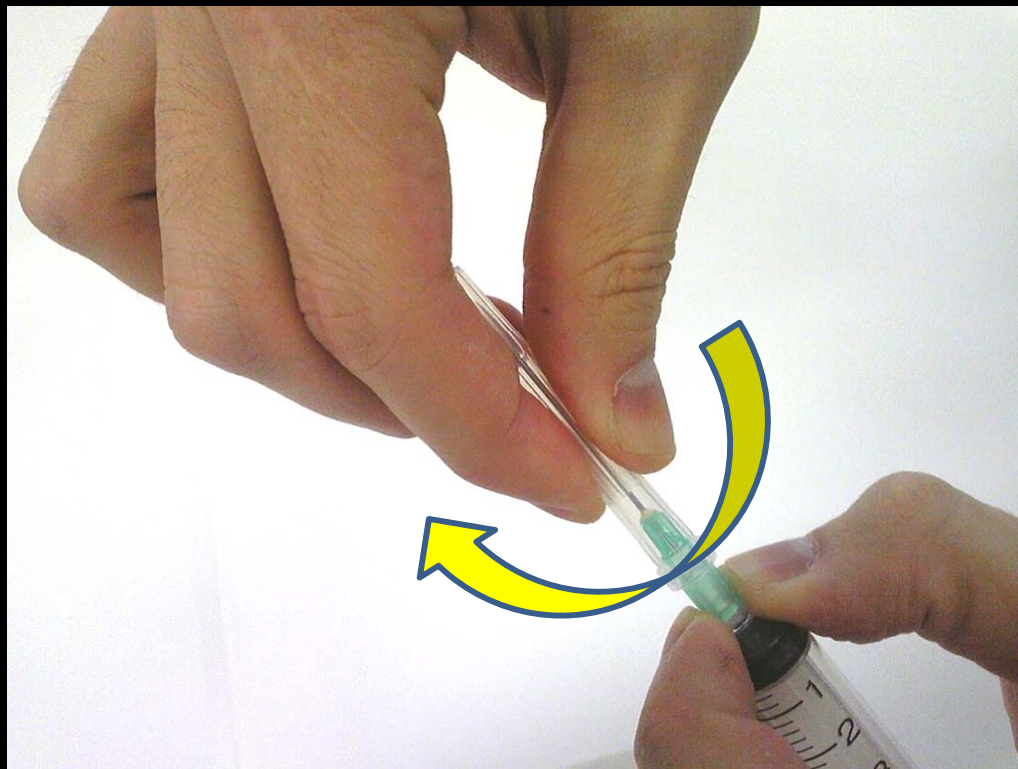




注射針を取り扱うので、自分および他人を傷つける事故を
起こさないよう細心の注意を払うこと。

注射器を袋から出す。

袋の中は清潔（殺菌処理が施されている）になっている。



注射針のキャップを取りはずす。
キャップと注射針の基部が外れにくい場合がある。
無理に引っ張ると危険。
キャップをねじるようにしてゆっくりと外す。



キャップを無理に引っ張ると
針先が自分の指や掌に刺さる危険あり。
キャップをねじるようにしてゆっくりと外す。



10ml生食入りバイアルのキャップをはずす。
キャップで覆われた個所は清潔処理が施されている
ので、指や掌に触れないように扱う。



バイアルのゴム部分に穿刺個所の印がある。
その個所に注射針を刺す。
バイアルの中は陰圧になっている。
注射器を引いて生食を1ml吸引する。
バイアル内の空気を引かないように注意。
バイアルを逆さにして吸引すると作業が容易になる。



5mlの空バイアルに注射器内の生食1mlを入れる。
バイアルの中は陰圧になっている。
注射針を穿刺すると生食が吸引されることを確認する。

生食の水滴を机や手指に着けないよう注意する。
(放射能が入っていると仮定して操作して下さい)

注射器内の空気泡を抜く方法(正確な吸引量を)
指で注射筒(シリンジ)を弾く。



2.5ml、1ml注射器を使用して同様の操作を行う。
10mlバイアルから1ml生食を吸引し、
5mlバイアルに注入する。

5mlバイアル内が陽圧に
ならないように注意する。

陽圧のバイアルは危険。

陽圧になりそうな場合は
バイアル内の空気を吸引する。



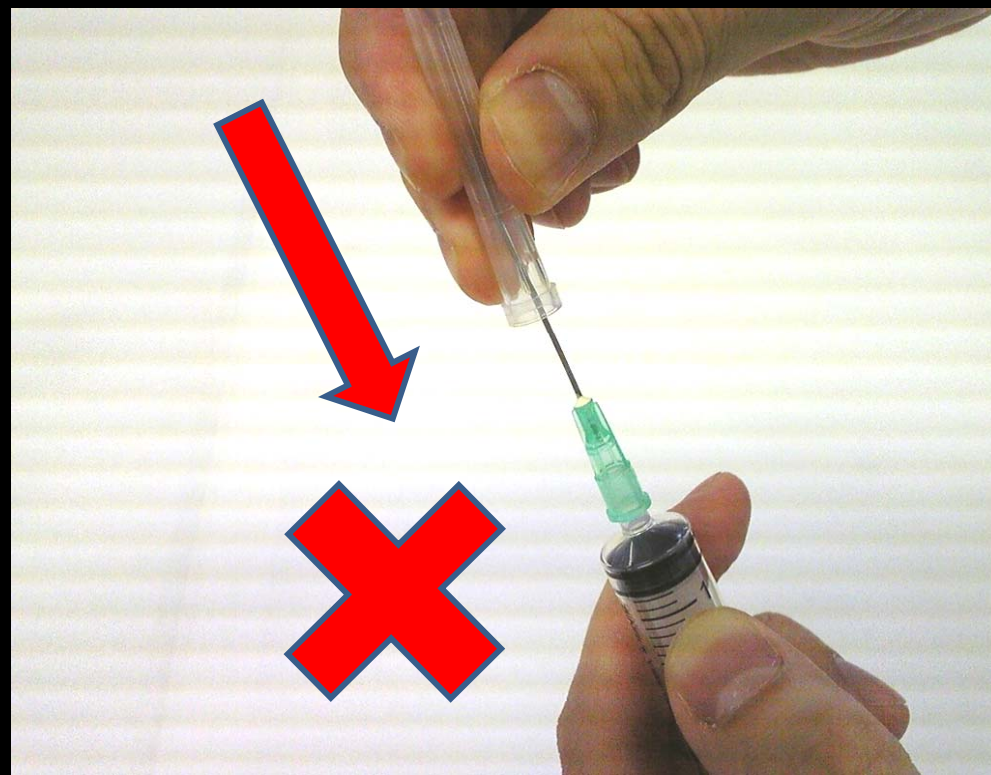
使用後の注射針の扱い

キャップをしない
(リキャップ禁止)

リキャップが針刺し事故の
原因になるので

医療現場ではリキャップ操作は禁止されている。

注射針、注射筒(シリンジ)は医療ごみとして扱う。
(一般ごみとして扱うことは禁止)



実験後のゴミの分別

可燃ごみ	紙
難燃ごみ	プラスチック(注射器の袋)
不燃ごみ	バイアル(ふた、ガラス瓶)

放射能汚染可燃ごみ

放射能汚染難燃ごみ

放射能汚染不燃ごみ

(今回の実習では生じない)